

各位

ENEOS株式会社

熊本国際空港との廃食油の活用について ～航空燃料の原料への廃食油再活用に関する連携協定の締結～

当社（代表取締役社長：山口 敦治）は、熊本国際空港株式会社（代表取締役社長：山川 秀明、以下「熊本国際空港」と、廃食油を持続可能な航空燃料（以下、「SAF」）の原料として活用する取り組みに関する連携協定を締結しましたので、お知らせいたします。

熊本国際空港が運営する阿蘇くまもと空港の飲食店テナント等から排出される廃食油を回収し、将来的には、当社が建設を検討するSAFの製造プラント（和歌山製造所：和歌山県有田市、能力：40万キロリットル／年）で原料として使用する予定です。

当社は、グループ長期ビジョンに掲げる通り、「エネルギー・素材の安定供給」と「カーボンニュートラル社会の実現」との両立に向け挑戦しています。その一環として、SAFの原料調達・自社製造・販売まで一貫体制の構築を進めており、SAFの製造に必要となる廃食油や植物油を持続可能な形で確保するため、国内および世界にて、未活用の廃食油回収に向けた取り組みを多くのパートナーと協力し推進しております。

以上

【廃食油活用の流れ（イメージ）】

